

甲 賀 警 察 署 協 議 会 議 事 録

開催日時	令和4年9月14日（水）午後2時30分～午後4時10分	
開催場所	生活安全部機動警察隊 会議室	
出席者	委員	畑山智明会長、大隅忠司副会長、北村正之委員、谷村ふみ子委員 武藤敬助委員、上森秀夫委員、木村準子委員
	警察	署長、調査官（警務課長）、地域課長、警備課長
	陪席	滋賀県公安委員会北村委員
議事概要	<p>1 滋賀県公安委員会北村委員挨拶</p> <p>北村委員から「警察署協議会は、警察改革の一環として設立された。甲賀警察署は署長の強いリーダーシップにより、スピード感をもって、委員からいただいた市民目線の意見等を目に見える形で警察業務に反映されており、県下の各警察署協議会の模範となる取組を進められている。治安維持には県民の協力が不可欠であり、警察署協議会はますます重要となる。本日は、率直で忌憚のない発言をお願いします。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>会長から「特殊詐欺防止啓発シールや見やすくわかりやすい広報紙の作成・配布を迅速に行っていただき感謝する。今回のテーマであるドローンは、捜索活動や犯罪捜査に変容を与えるツールとして限りない可能性を秘めており、今後の活躍に期待する。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 署長挨拶</p> <p>署長から「委員の皆様には日頃から警察活動に対する御意見をいただき感謝する。当署では、互助・共助の精神で業務に取り組むよう署員に指示している。これから秋の全国交通安全運動が始まるが、工夫を凝らした啓発等を行い、事件・事故の抑止に努めていきたい。また、この度当署独自のキャラクターを作成し、協力団体から着ぐるみを寄贈いただくなど、多方面から協力いただいているところである。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>4 議題</p> <p>(1) 第一回協議会における提言に関する反映報告</p> <p>警察から、第一回協議会において提言された、特殊詐欺防止啓発シールの作成・配布について、提言に基づく反映結果の報告があった。</p> <p>(2) ドローンを使用する警察活動</p> <p>警察から、災害対策、ドローンの特性と可能性についての説明があった後、甲賀警察署が協定を締結している企業によりドローンのデモンストレーションが行われた。その際、委員から「ドローンの活用により警察活動がスリム化する。啓発活</p>	

動にも利用でき、被災者を出さない活動にも期待できる。」「自然に囲まれた滋賀県では必要な物と感じた。また、警察署において防災訓練をする際は、互いのスキルアップを兼ねて防災士連絡会など民間の防災士の方にも参加してもらっていただきたい。」「民間企業、自治体などタテ・ヨコの連携を密にして、災害に対応いただきたい。」「民間企業との連携も大事だが、独自に対応できる体制も必要ではないか。」「ドローンが防災等に役立つ旨の説明を受け、ドローンに対するイメージが変わった。」「有事の際は、管内の有資格者と連携してドローンを警察活動に使用できればと思う。」旨の発言があった。

5 会長総括

会長から「警察からは前向きな取組を紹介いただき、委員の皆様からは、警察からの説明に対して前向きな意見をしていただいた。」旨の発言があった。

6 滋賀県公安委員会北村委員講評

北村委員から「警察署協議会ごとに特色を持った活動をされているが、甲賀警察署協議会は、いつも斬新な取組を行っていただいている。ドローン協定は前向きで素晴らしい取組である。飛行条件等に制限はあるが、画像や音声は災害現場で有効活用できる事を確認できた。警察署へのドローンの配置については、規格や予算の関係もあるが、自治体や企業との連携・協定を拡大していく方が有効で検討する必要もある。締結された協定を警察活動に有効活用していただきたい。新たに作成されたキャラクターに大いに期待する。」旨の講評がなされた。

7 次回協議会の日程

11月下旬に開催予定